



第10回ジュニア・ライフセービング競技会 ～with第5回 JLA Classic～

実施報告書

誇り高き、 生命をつなぐ

日本ライフセービング協会は、
東日本大震災の悲しみを記憶に刻み、
「人」と「海」とのかけ橋となって、
これからも水辺の事故ゼロを目指します。

本大会の中止について	—————	P3
開催概要	—————	P4
開催地情報	—————	P5
大会会場図	—————	P6
大会タイムテーブル	—————	P7
大会関係者一覧	—————	P8
大会申込チーム一覧	—————	P9
参加規定-1	—————	P10
参加規定-2	—————	P11
協力企業様 提供品-1	—————	P12
協力企業様 提供品-2	—————	P13
提供品発送の様子	—————	P13

気象情報ならびに現地状況を踏まえ、本競技会の安全委員会・実行委員会の最終判断にて「第10回ジュニア・ライフセービング競技会 ～with第5回 JLA classic～」は、8月31日（土）・9月1日（日）の両日ともに中止となった。

■中止の判断 8月30日（金） 14：32

■中止の経緯・詳細の報告 8月30日（金） 21：39

※速報として「Twitter」、「facebook」にて配信

<中止に至った経緯>

□8月30日（金）14：30までの状況

大平洋高気圧から秋雨前線や台風(温帯低気圧)に向けて湿った暖かい南西風が強く吹きつづけ、海はオンショアによる風波、白波が立っている。ビーチは砂が飛ばされ石などが出てきている状況。

□8月30日（金）14：30以降の気象予想

さらに発達した秋雨前線の影響で南西風が強く吹き続ける予想。また、波も台風によるうねりも加わり波高(1.5m)の予想もでている。

□最終判断

現地の状況をみても、子どもたちには厳しいコンディションであると判断。
8月31日（土）についても天候の回復の見込みが少ないことから子どもたちの安全の確保、事故防止の観点から中止とした。

- 名 称 第10回ジュニア・ライフセービング競技会 ～with第5回 JLA classic～
- 日 程 2013年8月31日（土）～9月1日（日）
- 場 所 岩井海岸 （千葉県南房総市）
- 主 催 特定非営利活動法人日本ライフセービング協会
- 後 援 千葉県、千葉県教育委員会、南房総市、南房総市教育委員会
- 助成 スポーツ振興くじ助成事業
- 協 力 株式会社櫻井興業GUARD事業部、森永製菓株式会社、日本製粉株式会社、
南房総市観光協会岩井支部、南房総市岩井民宿組合、
国際武道大学トレーナーチーム、岩井ライフセービングクラブ
- 競技種目 【ジュニアの部／個人種目】
1. ランスイムラン（3/4年生男子・女子、5/6年生男子・女子）
 2. ウェーディングレース（1/2年生男女混合）
 3. ニッパーボードレース（3/4年生男子・女子、5/6年生男子・女子）
 4. ビーチフラッグス
（1/2年生男女混合、3/4年生男子・女子、5/6年生男子・女子）
- 【クラシックの部／個人種目】
1. ランスイムラン（男・女）
 2. ビーチフラッグス（男・女）
 3. サーフスキーレース（男・女）
- 【ジュニアの部／団体種目】
5. タップリンリレー（3/4年生男子・女子、5/6年生男子・女子）
 6. ビーチリレー（3/4年生男子・女子、5/6年生男子・女子）
- 【クラシックの部／団体種目】
4. ビーチリレー（男・女）
 5. レスキューボードリレー（男・女）
- 【イベント】
1. 親子チャレンジ

■ 会 場 岩井海岸 （千葉県南房総市）

3kmにも渡る内房では一番長い海水浴場。
全長約3kmにも渡るロングビーチ。波が穏やかなため林間学校の間として利用されることが多く、子どもも安心して遊ぶことができます。海水浴期間中は地引網や宝探し大会、スイカ割り大会など、無料で参加できるイベントが多数行われ、盛り上がりを見せます。

■ 住 所 千葉県南房総市久枝・高崎地

- アクセス 車の場合：富津館山道路鋸南富山ICから国道127号経由で5分
電車の場合：JR内房線岩井駅から徒歩10分

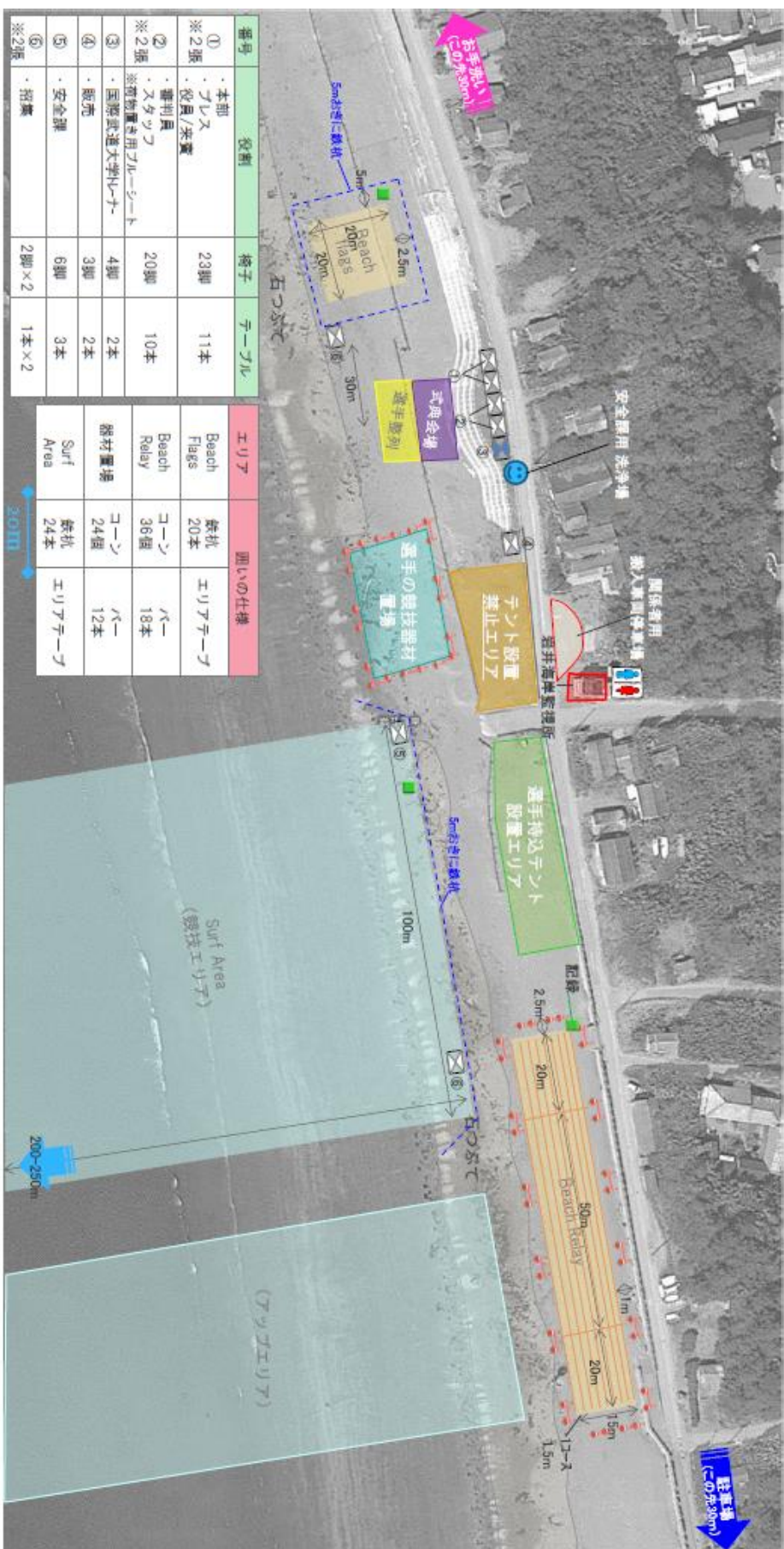
■ 周辺図



大会会場

COMPETITION AREA

第10回全日本ジュニア・ライフセービング競技会
～with 第5回 JLA classic～



Place

岩井海岸(千葉県南房総市)

Date

2013.08.20

OFFSIDE
INCORPORATED



大会タイムテーブル

※タイムテーブルは天候やエントリー数によって変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1日目 8/31 (土)

2013/8/23現在

サーフエリア		ビーチエリア	
時間	内 容	時間	内 容
8:00	安全委員会／実行委員会		
9:00	オフィシャル集合		
9:30	出場確認		
9:45	代表者会議		
10:45	開会式整列準備		
11:00	開会式		
		11:30	ビーチフラッグス (1.2年MIX) 予選
		12:00	ビーチフラッグス (3.4年女子) 予選
		12:20	ビーチフラッグス (3.4年男子) 予選
12:50	ニッパーボードレース (5.6年女子) 予選		
13:05	ニッパーボードレース (5.6年男子) 予選		
13:20	ニッパーボードレース (3.4年女子) 予選		
13:40	ニッパーボードレース (3.4年男子) 予選		
		14:10	ビーチフラッグス (5.6年女子) 予選
		14:30	ビーチフラッグス (5.6年男子) 予選
15:10	ウェーディングレース (1.2年MIX)		
15:40	ランスイムラン (3.4年女子) 決勝		
15:50	ランスイムラン (3.4年男子) 決勝		
16:00	ランスイムラン (5.6年女子) 決勝		
16:10	ランスイムラン (5.6年男子) 決勝		
16:20	ランスイムラン(クラシック女子) 決勝		
16:30	ランスイムラン(クラシック男子) 決勝		
16:50	表彰式 (ランスイムラン・ウェーディングレース)		

2日目 9/1 (日)

サーフエリア		ビーチエリア	
時間	内 容	時間	内 容
6:30	安全委員会／実行委員会		
7:00	オフィシャル集合		
		8:30	ビーチフラッグス(クラシック男子)予選
		8:40	ビーチフラッグス(1.2年MIX)(3.4年女子/男子)決勝
		9:40	ビーチフラッグス(5.6年女子/男子)決勝
		10:20	ビーチフラッグス(クラシック女子/男子)決勝
11:00	親子チャレンジ		
11:30	表彰式 (ビーチフラッグス)		
11:50	タップリンリレー (3.4年生MIX) 決勝		
12:00	タップリンリレー (5.6年生女子) 決勝		
12:10	タップリンリレー (5.6年生男子) 決勝		
12:20	レスキューボードリレー(クラシック)決勝		
12:35	サーフスキーレース(クラシック男子)決勝		
12:50	ニッパーボードレース(3.4年女子)決勝		
13:00	ニッパーボードレース(3.4年男子)決勝		
13:10	ニッパーボードレース(5.6年女子)決勝		
13:20	ニッパーボードレース(5.6年男子)決勝		
		13:30	ビーチリレー (クラシック) 決勝
		13:35	ビーチリレー (3.4年生MIX/5.6年生女子男子) 決勝
13:50	集合写真撮影 / 表彰式・閉会式		
15:00	全終了		



●大会役員

大会会長	小峯 力	(日本ライフセービング協会 理事長)
大会副会長	中川 儀英	(日本ライフセービング協会 副理事長)
	入谷 拓哉	(日本ライフセービング協会 副理事長)
大会役員	石川 仁憲	(日本ライフセービング協会 理事)
	松本 貴行	(日本ライフセービング協会 理事)
	広渡 英治	(日本ライフセービング協会 理事)
	酒匂 敏次	(日本ライフセービング協会 理事)
	上野 真宏	(日本ライフセービング協会 理事/事務局長)

●実行委員会

実行委員長	入谷 拓哉 (ライフセービングスポーツ推進本部長)			
副実行委員長	泉田 昌美 (ライフセービングスポーツ推進副本部長)			
実行委員	塚本 隆之 (競技運営審判委員長)			
	橘川 克巳 (競技運営審判副委員長)			
	中島 重之 (競技運営審判委員)			
	松本 貴行 (JLA ACADEMY本部長)			
	丸田 重夫 (学生室長)			
	西山 一貴 (岩井ライフセービングクラブ)			
規律委員会	入谷 拓哉	泉田 昌美	塚本 隆之	上野 真宏
安全委員会	入谷 拓哉	泉田 昌美	塚本 隆之	中島 重之
	西山 一貴	事務局		

●競技役員

審判長兼上訴審判員	泉田 昌美			
総合記録員	塚本 隆之(1)	橘川 克巳	山崎 勇	寺坂 恵実(ス)
	村石 結美(ス)			
招集員	◎外池由美子	小川 貴弘		
出発合図員	◎相馬 義彦			
審判員 (コース審判、着順審判、ビデオ含む)	◎藤田 善照	谷中 一朝	中根 大文	内倉 洋史
	中尾 正	渡邊 来美	石井 奈美	山田 美月
	岡田 亮平	林 昌広(1)	中島 典子(1)	斉藤 愛子(1)
	藤井 正弘(31)			
審判員 (海上審判含む)	◎中島 重之	板垣 俊輔	浜地 憲太郎	川崎 泰弘
	吉岡 才智	平藤 昌寛		
記録員	渡邊 彩子	江部 愛里奈		

●総務関連

器材・会場係	岩井ライフセービングクラブ		事務局/オフサイド	
安全課	◎西山 一貴	岡本 大	服部 信吾	西 大樹
	河崎 尚子	三川 彩綾	池田 愛美	有賀 勇人
	吉津 颯太	北島 駿一		
ドクター	大内 洋（亀田総合病院）（1）			
トレーナーステーション	国際武道大学トレーナーチーム			
司会進行	原田 美樹	（補助；佐藤洋二郎）		
式典・表彰	オフサイド			
警備（夜間）	サンエス警備保障			
広報	高野 絵美			
事務局	上野 真宏	中山 昭	川地 政夫	佐藤 洋二郎
	本多 通真	水間 菜愉		
オフィシャルカメラ	三宅 菜央			
サポートスタッフ （昭和第一学園高等学校） （岩井LSC）	◎高橋 珠榮	河西 基	茂木 秀人	岡本 拓斗
	精木 達也	臼井 悠真	大谷 晃史	大山 祐
	佐々木 大河	佐藤 新	佐藤 亮佑	鈴木 竜司
	吉野 恵斗	土井 一輝	吉川 喬哉	久野 真由
	河井 楓人	高橋 航也		

※ (31)・・・8/31のみ、(1)・・・9/1のみ

※ (ス)スタッフ

※審判員(海上審判含)の方は審判ユニホームもご持参ください。

No.	大会表記（チーム略称）	ジュニアの部			クラシックの部			合計
		男子	女子	計	男子	女子	計	
1	稲毛LSC	0	4	4	0	1	1	5
2	柏崎LSC	2	1	3	0	0	0	3
3	鎌倉LG	9	8	17	0	0	0	17
4	鴨川小学校	2	1	3	1	0	1	4
5	九十九里LSC	0	0	0	1	0	1	1
6	下田LSC	5	3	8	0	0	0	8
7	湘南ひらつかLSC	3	6	9	0	1	1	10
8	世田谷スイミングアカデミー	7	4	11	0	0	0	11
9	館山SLSC	5	6	11	7	4	11	22
10	北谷公園サンセットビーチLSC	1	0	1	0	0	0	1
11	西浜SLSC	28	14	42	4	2	6	48
12	パティ冒険団	8	3	11	0	0	0	11
13	フォーエバー-6	1	5	6	0	0	0	6
14	※個人参加	1	0	1	1	1	2	3
15	盛岡LSC	0	1	1	0	0	0	1
16	山形LSC	0	3	3	1	0	1	4
17	湯河原LSC	2	3	5	0	0	0	5
18	横浜市立磯子小学校	1	0	1	1	0	1	2
19	TEAM CAFÉ・CREW	4	2	6	4	0	4	10
20	TIDEPOOL OCEAN ACADEMY	6	0	6	1	0	1	7
合計参加者数		85	64	149	21	9	30	179

参加実績

2012年：28チーム、238人 / 2011年：22チーム、224人

■大会申込人数

- ☐ チーム数 : 20チーム
- ☐ 選手人数 : 179名（ジュニアの部 149名 / クラシックの部 30名）
- ☐ 審判員 : 37名
- ☐ スタッフ : 30名



第 10 回ジュニア・ライフセービング競技会

【大会参加規定】

1 参加資格

選手の参加資格は下記を満たしている、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1 選手は、大会初日当日に小学校在籍またはそれと同様の年齢に達していること。

1-2 選手は、ライフセービングを志している者とする。

2 チーム構成

2-1 チームは学校もしくはクラブなど、同じ団体に所属している選手により構成されていなければならない。また、1 団体からの出場は男女それぞれ 1 チームとする。

2-2 チーム内から必ずキャプテン（代表）を 1 名選出すること。

2-3 合同チーム編成について

2-3.1 複数クラブによる合同 1 チーム編成での大会参加を認める。

2-3.2 合同チームは本大会のみへの出場を認めるものとする。

2-3.3 合同チームの編成が本大会の主旨に適合しないと実行委員会が判断する場合もある。

2-3.4 チーム名は、クラブ名を連記すること。その順番は、クラブ間で協議して決定すること。なお、大会では便宜上、以下のように表記する。

➤ 「合同 A : ○○ライフセービングクラブ・○○○中学校」

➤ 「合同 B : ○○○高等学校・○○○ライフセービングクラブ」 等

3 出場登録

3-1 選手は、あらかじめ所定の用紙を用い締切日までに出場種目の登録をしなければならない。なお、締切後の出場種目の変更および未登録種目への出場はできない。

3-2 出場登録は 1 名につき 2 種目までとする。ただし、チーム種目は除く。

3-3 選手個人の技術や体力などを充分考慮してエントリーすること。

4 ユニフォーム及び競技中の衣類

4-1 式典や表彰式および競技に適したユニフォーム（なければジャージ等）、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。

4-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる選手も競技に参加することができない。

4-3 キャップは、選手の識別や判定のために重要であるため、スタート前に 2 本の紐をあごの下で結んで選手の頭に着用しなければならない。スタートの後に、キャップがとれたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

4-4 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

4-5 キャップを準備していない選手にあっては、当協会が準備したキャップを着用して参加すること。

5 表彰

5-1 個人表彰は各種目の上位 1 位から 8 位を入賞とする。また、1 位から 3 位の選手を表彰しメダルを授与する。

5-2 チーム総合表彰は、チーム総合得点により、男子総合と女子総合のそれぞれ上位 1 位から 8 位を入賞とする。また、男子総合と女子総合のそれぞれ 1 位から 3 位のチームを表彰し表彰状を授与する。

6 参加費

6-1 参加費は以下の通りとする。

ジュニア部門 ≫ ≫ 1 名 2,500 円 クラシック部門 ≫ ≫ 1 名 3,000 円

6-2 参加費は、参加申込締切日までに支払わなければならない。

6-3 参加申込締切後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

6-4 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。

7 競技器材

- 7-1 競技に使用する器材は原則として参加選手が用意するものとする。
- 7-2 競技で使用する器材は、「ライフセービング競技規則（2012年版）」の「第7章競技器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 7-3 主催団体は、選手の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その選手はその器材を使用できないか、または失格となる。

8 競技規則

- 8-1 「ライフセービング競技規則（2012年版）」に基づいて行う。
- 8-2 本大会のスタート方法は、2回制（2スタートルール）とする。
- 8-3 靴の着用は競技中の安全性を考慮し使用可能とする。なお、競技会場（砂浜）の状況に応じて、着用を義務付ける場合もある。

9 その他

- 9-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使用する可能性がある。
- 9-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 9-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

（以上）

協力企業様のご提供品は、大会期間中の配布を予定しておりましたが、悪天候により大会中止となりました。

その為、大会事務局とスタッフがご提供品を各チーム（大会参加申込チーム）毎に振分け、チーム代表者への発送を行いました。

《発送作業：8月31日（土）大会関係者宿泊施設にて》

森永製菓株式会社 様 「ウイダーinゼリー」



日本製粉株式会社 様 「オーマイ HELLO KITTY マカロニ」



株式会社櫻井興業GUARD事業部 様 「本大会 ラッシュ」



提供品発送作業の様子



